南阿蘇村そば有機栽培暦

南阿蘇村農業みらい公社

	7月		8月			9月			10月			11月							
	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬					
生育経過																			
作業	排水対策		耕うん、基肥施用 播種(8月中旬～下旬)						収穫・乾燥・調整										
作業のポイント	<p>品種</p> <ul style="list-style-type: none"> 久木野在来種 <p>ほ場選定、排水対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ソバは湿害に弱いため排水不良ほ場を避ける。 水田転換ほ場では明渠、暗渠などを組み合わせる。 <p>耕うん、碎土、整地</p> <ul style="list-style-type: none"> 耕起は播種直前に行います。 ほ場に大きな土塊が多いと、出芽不良になります。 土塊が小さいほうがソバの発芽率が向上します。 反対に、細かな土塊が多すぎると、降雨後に土壌表面が膜状に固くなり、出芽率が低下します。 プラウやロータリーを使用して耕起。 耕起深度は15～20cmを目安に耕起。 <p>肥料散布</p> <ul style="list-style-type: none"> 転換初年目等地力が高い場合は無肥料とする。 連作で地力が低くなっているほ場では、10aあたり牛糞堆肥200～500kgまたは鶏糞100kgを施用する。 					<p>播種</p> <ul style="list-style-type: none"> 適期は8月中旬～下旬 9月5日までには播くこと。 播種量は5～6kg/10a 条播より散播が倒伏しにくい。 動力散布機等で均一に散布し、ロータリーで浅く攪拌して覆土する。 晴天が続く場合は播種後に鎮圧すると発芽率が向上する。 播種深度は2～3cm。浅すぎると乾燥時に出芽が遅れて不揃いになる。 そば播種と同時にレンゲまたは赤クローバーの種子を2～3kg/10a播種するとそば収穫時にはレンゲなどが発芽している。翌春の開花結実後に耕耘すると、2年目以降は播種しなくても緑肥が育って地力維持効果が期待できる。 <p>獣害対策</p> <ul style="list-style-type: none"> イノシシやシカが来るほ場は電気牧柵等で対策を行う。 <p>収穫、脱穀、乾燥、調製</p> <ul style="list-style-type: none"> コンバイン収穫適期の目安は 黒化した子実が70～80%の頃。 乾燥機で加熱乾燥する場合、送風温度は30℃以下とする。 									<p>ソバは湿害に弱く、発芽率は播種後1日の湛水で26%、2日の湛水で2.6%まで低下する。</p>				